



# Torin

**T83001L モデル**  
3トン アルミ+スチール ハイブリッド・ジャッキ

## 警告記号



注意マークは、傷害を負う可能性がある危険を説明しています。傷害や死亡を防ぐため、注意マークの説明に従って下さい。



警告：死亡または重大な傷害に繋がる可能性がある危険な状況を説明しています。



重要：ご使用前に本取扱説明書をお読み下さい。

ジャッキをご使用になる前に、本取扱説明書をよくお読みになり、操作手順、注意事項、およびメンテナンス要目を十分ご理解の上ご使用下さい。

ジャッキの使用者全員が使用前に必ず本取扱説明書をお読みになるよう、所有者が責任を持ってご確認下さい。また本取扱説明書は使用者がいつでも見られる場所に大切に保管して下さい。ジャッキのラベルが読めない状態の場合は、アルカン宛にラベルをご請求下さい。

## 危険な状況について



車両用ポータブルジャッキの使用には、技術的手段よりはむしろ、思考力、注意力および常識を以ってのみ防止できる特定の危険性が伴います。車両およびその部品にジャッキを使用する際には、ジャッキの安全操作および適切な使用方法について訓練経験があり、資格を有する慎重な人がジャッキの使用および操作を行なうことが重要です。危険な使用例には、不適切なジャッキアップ、オーバーロード、中心から外れたジャッキアップ、固い床面以外での使用、およびジャッキアップ以外の目的での使用などから生じる、落下、転倒またはスリップなどがあります。

## 危険を避ける方法



- 1. ジャッキの操作前に本取扱説明書全体をよくお読みになり、ご理解いただき、説明書に従って下さい。
- 2. ご使用ごとにジャッキを点検して下さい。ジャッキにダメージ、変更、改造、コンディション不良、油圧オイル漏れがある場合、または部品の緩みや紛失でジャッキが不安定な場合は、ジャッキを使用しないで下さい。使用前にこれらの状態を修理してから使用して下さい。
- 3. 車両メーカーの指定する車両部分を使ってのみ、ジャッキアップを行って下さい。
- 4. 使用者、見物人共に、ANSI規格 Z87.1 およびアメリカ労働安全衛生局（OSHA）の基準を満たす安全ゴーグルを使用して下さい。
- 5. 定格の能力以上の負荷をかけて使用しないで下さい。ジャッキアップした車両に衝撃を与えないで下さい。
- 6. このジャッキはジャッキアップのみを目的としています。ジャッキアップ後は、車両の保持が可能なジャッキスタンド用いて直ちに車両をサポートしてから、車両への作業を開始して下さい。
- 7. ジャッキアップ、ジャッキダウン操作の際にジャッキ自体が動かぬよう、障害物のない固く平らな面で使用して下さい。
- 8. 受け皿の中心にジャッキアップポイントを設定して下さい。車両のジャッキアップ作業に取り掛かる前に、車両が安定して受け皿に設置されていることを確認して下さい。
- 9. 車両がジャッキ上にある間は、車両を動かしたりジャッキで搬送したりしないで下さい。
- 10. 受け皿とジャッキアップポイントの間に、ライザーやスライサー、延長具の機能をするものを使用しないで下さい。
- 11. ジャッキメーカーが承認または供給する以外のアダプターを、受け皿の代わりに使用しないで下さい。
- 12. メーカー責任者への相談無く、本製品を使用目的以外に使用または改造しないで下さい。
- 13. ジャッキダウンは常にゆっくり慎重に行って下さい。
- 14. 本製品は、カリフォルニア州で指定されている発癌性、先天異常、または他の生殖障害を起こす可能性のある化学物質を含んでいる可能性があります。使用後はよく手を洗って下さい。
- 15. 本警告内容への注意を怠った場合、生死に関わる傷害や施設障害に繋がる可能性があります。

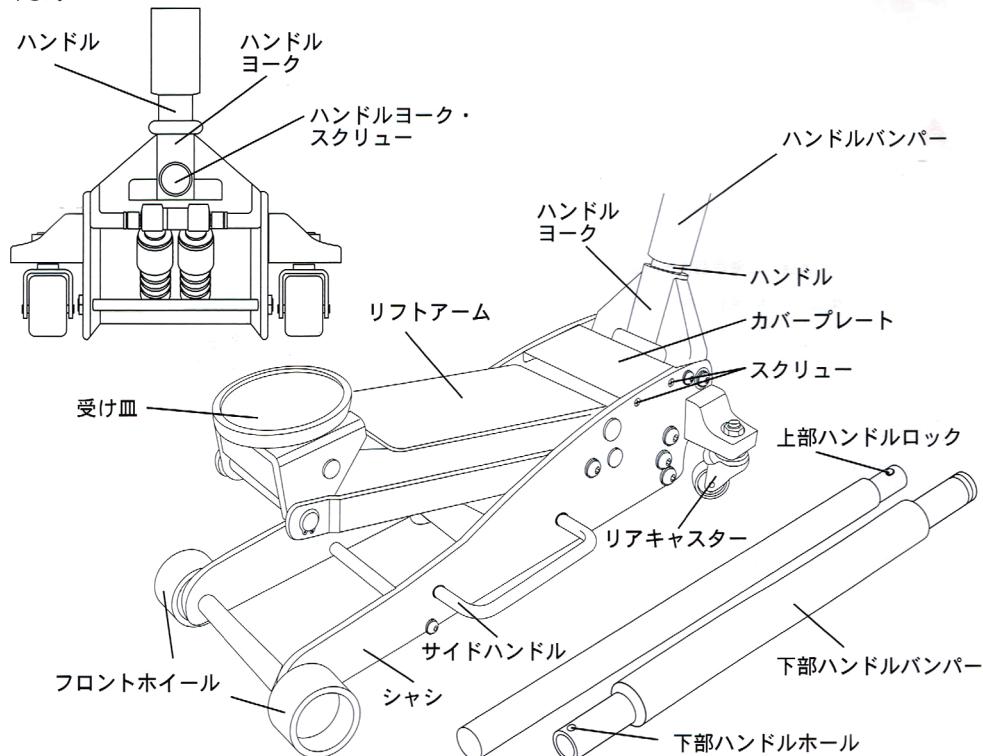
## 危険防止を怠った場合



ジャッキをご使用になる都度、目視点検を行い、油圧オイルの漏れおよび部品のダメージ、緩み、または紛失がないかご確認下さい。ジャッキに何らかのダメージが見られる、磨耗が激しい、または操作に異常がある場合は、必要な修理が完了するまでジャッキを使用しないで下さい。

## 操作前の点検

ジャッキをご使用になる都度、目視点検を行い、油圧オイルの漏れおよび部品のダメージ、緩み、または紛失がないかご確認下さい。ジャッキに何らかのダメージが見られる、磨耗が激しい、または操作に異常がある場合は、必要な修理が完了するまでジャッキを使用しないで下さい。



## 組立方法

1. 上部ハンドルの先端を下部ハンドルに挿入しながら、上部ハンドルにあるハンドルロックを押して下さい。上部ハンドルロックが下部ハンドルロック・ホールの穴に合うまで、ハンドルを前後に回転させて下さい。
2. ハンドルがヨーク内で回転しやすいように、ハンドルヨークの内部にグリスを塗布して下さい。ハンドルヨーク・スクリューをはずし、リリースバルブに合わせる状態になるよう、下部ハンドルの先端をハンドルヨークに最後まで押し込んで下さい。ハンドルヨーク・スクリューをもどに戻し、固く絞めて下さい。ハンドルを回転させ、リリースバルブが回転しているかどうか確認して下さい。ハンドルを引いて、ハンドルがハンドルヨークに固定しているか確認して下さい。リリースバルブが回転しない場合および/またはハンドルと共にハンドルヨークが引っ張られる場合は、2.の操作を繰り返して下さい。
3. 重要：商品到着後、通常ジャッキはすぐに使用できる状態になっていますが、配送中に油圧システム内に空気が溜まってしまうことがあります。油圧システム内に空気が溜まつた場合、多くのポンプストローク数増加、ジャッキアップできない、ジャッキアップの状態を保持ができない、または荷重をかけるとポンプがフワフワするなどの症状があります。上記症状がある場合のみ、以下の手順に従い、油圧システムから空気の除去を行って下さい。
  - a) ハンドルが止まるまで時計回りに回し、リリースバルブを閉じて下さい。停止した後、ハンドルを反時計回りに回し、2回全回転させて下さい。最大ストロークでジャッキを10回ポンピングして下さい。
  - b) ハンドルが固くなるまで時計回りに回し、荷無しで最高位までリフトアームをポンピングして下さい。ポンピングの状況が改善した場合、空気が全て除去されるまで、a) および b) の作業を繰り返して下さい。

注意：溶接部のダメージおよびジャッキの不具合を防ぐため、アルコール、液圧ブレーキ液、またはトランスマッisionオイルは絶対にジャッキに使用しないで下さい。ジャッキ用油圧オイル、軽ターピンオイル、シェブロン油圧オイルAW ISO 32 またはユノカル・オイルUnax AW 150を使用して下さい。

重要：車両をジャッキアップする前に、車両メーカーのサービスマニュアルが指定するジャッキアップポイントを確認して下さい。